

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年8月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東大阪市	代表者名	野田 義和
担当者部署	行政管理部	連絡先電話番号	06-4309-3107
担当者役職		担当者氏名	
住所	577-8521 大阪府東大阪市荒本北一丁目1番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	当初は、オープンデータに関する内容のみの講演を依頼していたが、三木様からのご提案により、テーマをオープンデータを含めたデータの利活用という広い範囲のものに設定していただき、自治体としてどのように施策を進めていくべきか、といった内容を実例を交えながら非常に分かり易い講演であった。更に、同じく三木様からのご提案で、講演とは別に情報部門の職員との意見交換会を開催していただき、当市がどのように進めればよいか悩んでいる事項をテーマに、国が推進している取り組みについてアドバイスいただけ、こうした支援の内容が、本市の求めていた以上のものであったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月21日	13時00分	16時50分	10	220
3-2. 派遣場所	会場名	東大阪市役所 1階多目的ホール		最寄駅	荒本
	所在地	東大阪市荒本北一丁目1-1			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	43人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実績に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	オープンデータの意義を含め、データの利活用による市側及び住民側のメリットについて、業務を所管する所属の職員があまり認識できていないため、近年事例が増えつつあるICTを活用した行政サービスなどの施策をどのように進めていけばよいのかが分からず、導入に向けた検討があまり進んでいない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	データの利活用による様々なメリットについて、業務を所管する所属の職員が認識することで、今後の積極的なICTの活用による高度な行政サービスの提供に向けた検討を活性化し、市民サービスの向上及び業務の効率化につなげる。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体におけるデータ利活用をテーマに様々な事例を交えて、知識のない職員に対しても分かり易い内容で講演を実施していただいた。また、情報部門の職員との意見交換会では、当市がどのように検討を進めるべきか悩んでいる施策について、最近の動向を交えて方向性についてアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演を受講した多くの職員は、昨今の自治体によるICT化の動きについて認識が薄く、自身の業務内容とデータ利活用に基づく最新のICT施策との関連をうまく理解できていなかったが、講演を受講したことにより、職員からは「データの利活用を検討することにより課題解決の糸口が見えるかもしれない」「ICTの活用による行政サービスの高度化に興味があった」といった意見も聞かれ、内容の理解が進んだように見受けられた。こうしたように、職員が自身の業務とICTとを結びつけて今後の市民サービスや業務効率の向上を検討するきっかけとなったものと考えており、アドバイザーの支援により、職員の意識改善を図ることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	改善又は解決されなかった内容は特にないと考えているが、今回の支援により高めていただいた、職員のデータ利活用を含めたICT施策に対する意識を今後も継続して向上させ、更に広げていくことが重要であると考えており、こうした動きを維持することで、本市職員の中に、データの利活用による市民サービスや業務効率の向上を常日頃から意識して業務に取り組むという文化を醸成していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別紙「アンケート結果」参照。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	積極的なデータの利活用を含めたICT施策の実施により、住民に対してはより高度なサービスの提供を行い、市役所側としては業務の効率化を実現させ、今後の少子高齢化、人口減少への対応や働き方改革、行財政改革の推進といった様々な行政課題に対し、解決に向けた施策を展開して市役所としての責務を果たす。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

